



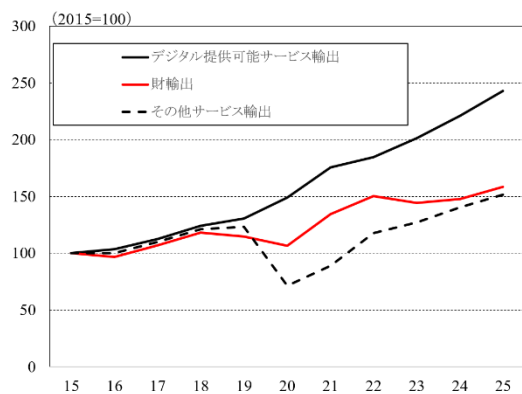
2026年6月5日

## 生成 AI が迫るアジア新興国のデジタルサービス輸出の構造転換

公益財団法人 国際通貨研究所  
経済調査部 上席研究員 五味佑子

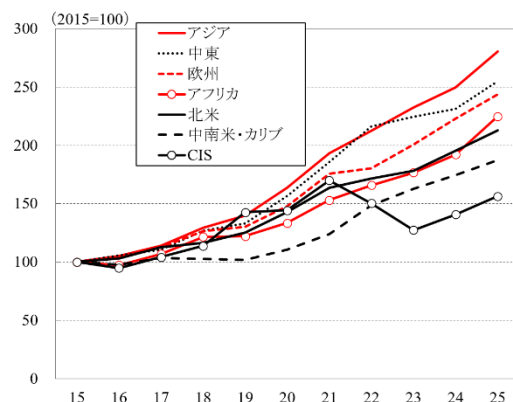
世界の 2025 年の輸出は、財輸出が約 26.3 兆ドル、サービス輸出が約 9.6 兆ドルで、サービス輸出のうちコンピュータネットワーク経由で遠隔提供される国際取引（Digitally Delivered Services、以下 DDS）は約 5.3 兆ドルとなった。DDS には、IT・コンピュータサービス、金融サービス、ビジネス・専門サービス、通信サービス、個人向け・文化・娯楽サービスなどが含まれるが、グローバルなデジタル化やコロナ禍でのオンライン化進展などを背景に 2020 年以降伸びが加速している（図 1）。

図 1：世界の輸出の推移



(注)2025年は暫定値  
(資料)WTOデータより国際通貨研究所作成

図 2：DDS 輸出の地域別の推移



(注)2025年は暫定値  
(資料)WTO資料より国際通貨研究所作成

地域別ではアジアがもっとも伸びており（図 2）、国別では、インド、中国、シンガポールの上位 3 か国でアジアの DDS 輸出の約 7 割を占める。DDS の輸出から輸入を引いた収支がプラスとなっている上位 5 か国をみると、インドの黒字幅が急速に拡大している（図 3）。要因として、豊富な科学技術・工学分野の若手人材やデジタルインフラの整備、経済特区設置などの投資誘致により、デジタルサービスの FDI の呼び込みにつなが

ったことが挙げられる（図 4）。

図 3：アジアの DDS 収支黒字上位 5 か国

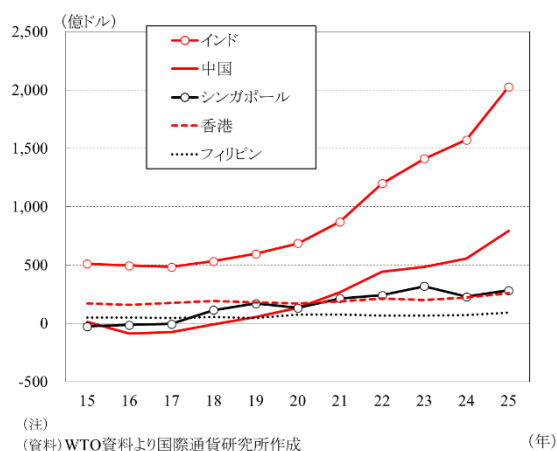
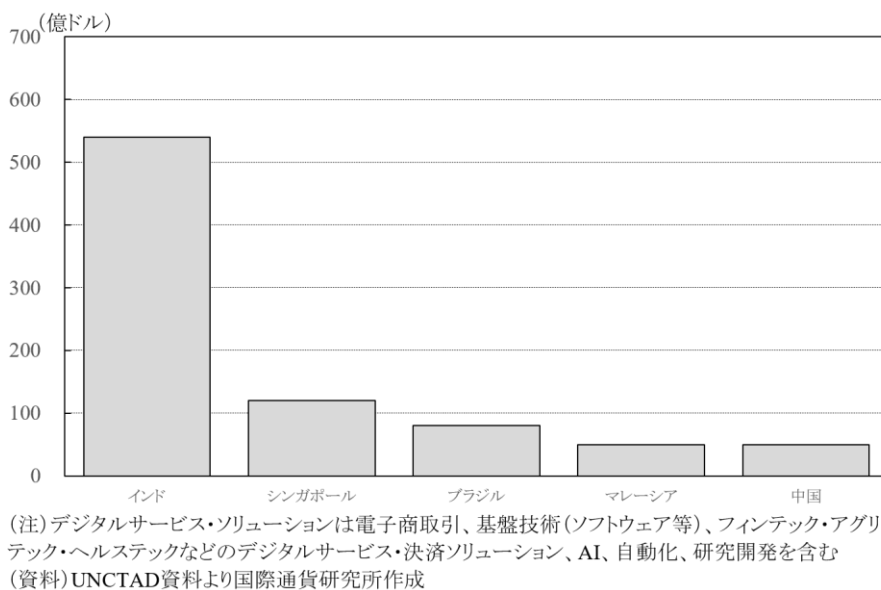
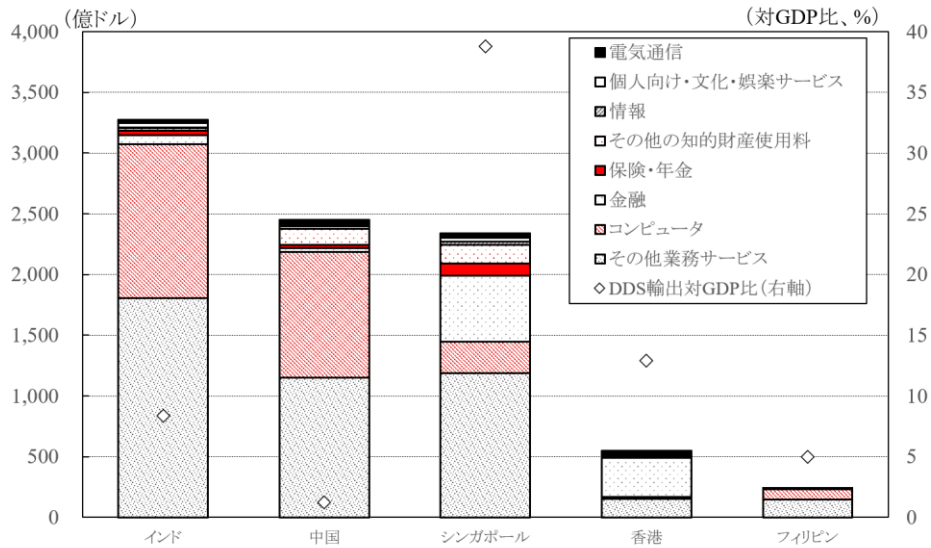


図 4：デジタルサービス・ソリューションのグリーンフィールド投資額  
(新興国上位 5 か国、2020 年から 2024 年の累計)



アジア上位 5 か国の DDS 輸出の対 GDP 比の規模は、中国は 1%にとどまるが、インドは 8%、フィリピンは 5%と相応の規模となっている（図 5）。DDS 輸出の内訳をみると、地域の金融ハブであるシンガポールと香港は金融サービスの割合が高いが、インド、中国、フィリピンはビジネス・専門サービスなどを含むその他業務サービスとコンピューターサービスの割合が高く、2つのサービスで3か国とも全体の9割を占める。

図 5 : アジア 5 か国の DDS 輸出内訳と DDS 輸出の対 GDP 比 (2025 年)



(資料)WTO、IMFデータより国際通貨研究所作成

この2つのサービス拡大の要因として、近年のICTサービスの広がりにより、コールセンター、保険金請求処理、ネットワーク・データセンター運営、ソフトウェアサポートなどのビジネス・プロセス・アウトソーシング (BPO) の発展が挙げられる。インドでは約580万人 (雇用の約1%)、フィリピンでは約180万人 (同4%) がBPOを含むIT-BPM (情報技術・ビジネスプロセスマネジメント) 産業に従事しているとされる<sup>1</sup>。

こうした中、生成AIのBPOへの影響が指摘されている。世界銀行のレポートは、コールセンターや業務プロセス管理業務のうち、生成AIによる自動化が可能な定型業務については、アウトソーシングの需要が減少する可能性があるとしている。国際労働機関 (ILO) の分析によると、AIによる自動化の影響が大きい職業として事務員やコールセンター販売員などBPO関連の職業が多く挙げられている (表)。

他方、こうした生成AIによる影響を大きく受ける職業においても、AI活用により付加価値の高い業務へと移行できれば、その職業の需要増加や新たな職業の創出につながる可能性もある。現時点では将来的にどのような職業が拡大するかについては見通すことは難しいが、少なくとも生成AIの普及によって既存の業務プロセスや必要とされるスキルセットの見直しが進むと考えられ、労働者や企業にはAIを補完的に活用しながら、より高付加価値のある業務へ移行するための適応能力が求められることになるだろう。

<sup>1</sup> なお、中国のアウトソーシング産業の2024年7月時点の就業者は約1,700万人 (雇用の約2%)。BPOの他、知識プロセス・アウトソーシング (KPO) やITサービス・アウトソーシング (ITO) を含む。  
[https://english.www.gov.cn/archive/statistics/202409/10/content\\_WS66e04949c6d0868f4e8eacde.html?](https://english.www.gov.cn/archive/statistics/202409/10/content_WS66e04949c6d0868f4e8eacde.html?)

表：生成 AI の自動化の影響を最も受ける職業

大分類	小分類
事務補助員	データ入力事務員
	タイピスト、ワープロオペレーター
	会計・経理事務員
	統計・財務・保険担当事務員
	他に分類されない事務補助員
	給与計算事務員
	一般事務員
	人事担当事務員
技術者および準専門職	証券・金融のディーラー、ブローカー
	貸付審査・貸付融資担当者
専門職	金融アナリスト
	ウェブ・マルチメディア開発者
サービス・販売従事者	コールセンター販売員

(注) 影響を受ける職業を4段階に分類した中で最も影響が大きいものを記載  
(資料) ILO資料より国際通貨研究所作成

以上

<主要参考文献>

- ILO (2025) “Generative AI and Jobs : A Refined Global Index of Occupational Exposure”  
[https://www.ilo.org/sites/default/files/2025-05/WP140\\_web.pdf](https://www.ilo.org/sites/default/files/2025-05/WP140_web.pdf)
- ILO (2025) “India is a major player in the digital services market :How did they get there and what does it mean for jobs?”  
<https://www.ilo.org/sites/default/files/2025-10/India%20DDS%20Policy%20Brief%202025.pdf>
- UNCTAD (2022) “Digitalization of Services: What does it imply to trade and development?”  
[https://unctad.org/system/files/official-document/ditctncd2021d2\\_en.pdf](https://unctad.org/system/files/official-document/ditctncd2021d2_en.pdf)
- World Bank (2025) DIGITAL PROGRESS AND TRENDS REPORT 2025  
<https://www.worldbank.org/en/publication/dptr2025-ai-foundations>

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2026 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: Nihon Life Nihonbashi Bldg., 8F 2-13-12, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027, Japan

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8 階

e-mail: [admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

URL: <https://www.iima.or.jp>